

発行 宮崎県東臼杵郡東郷町・編集 企画調整課 TEL(0982) 69-3901
〒883-0192 宮崎県東臼杵郡東郷町大字山陰丙1374番地
印刷 (有)是沢印刷 日向市本町 TEL(0982) 52-2567

元気・助け合い 牧水の里の秋祭り

— 第23回 東郷町産業文化祭 —



牧水の里の秋祭り

牧水の里の秋祭り	2～3ページ
台風14号被災世帯を対象に説明会	4～5ページ
台風14号災害義援金の配分検討会	6ページ
保健だより	7ページ
まちのアルバム	8～9ページ
さくら館だより	10ページ
インフォメーション	11～13ページ
ちびっ子ギャラリー	14ページ

夕さればいつしか雲は降り来て
峰に寝るなり日向高千穂

牧水

まちなみ
うごき

人口	4,905人(△10)
男	2,303人(△ 4)
女	2,602人(△ 6)
世帯数	1,735戸(△ 3)

平成17年11月1日現在
()は対前月比



「元気・助け合い」をテーマに牧水の里の秋祭り



受賞者の皆さん

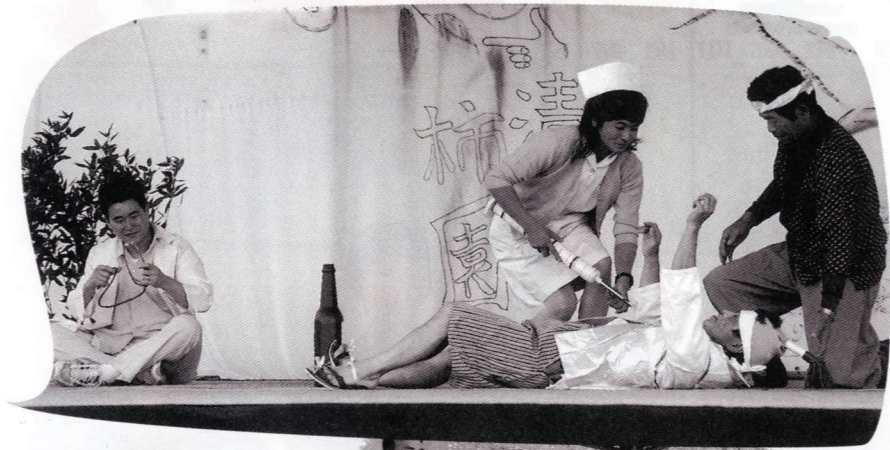
- 【農林技術賞】
 - 個人の部
 - ・畜産部門 海野 直(寺迫)
 - ・果樹部門 鈴野美千代(鶴野内)
 - 特別功労 黒木金一(寺迫)
 - 特別功労 故那須泰彦(坪谷)
- 団体の部
 - ・東郷町和牛振興会
- 【寒蘭展】
 - ・東郷町長賞 黒木正弘(寺迫)
- 【高齢者作品展】
 - ・優等 塩月リエ子(鶴野内)
 - ・優等 山口千歳(八重原)
- 【観光写真コンテスト】
 - ・金賞 山本 公生(日向市)
- 【囲碁大会】
 - ・優勝 尾崎容義(南郷村)

11月5日(土)、6日(日)に、牧水の里の秋祭り第23回東郷町産業文化祭が道の駅とうごうで開催されました。

イベント広場には、沖縄県宜野湾市の黒砂糖づくりの紹介、北海道幕別町のジンギスカンの振る舞い、ふるさと市場、婦人会、商工会等、各種コーナーが設営され、さくら館での各種作品展や農業改良普及センターでの農林産品展、寒蘭展など大勢の来場者でにぎわいました。

また、特設ステージでは地元出身の歌手水沢明美(仲深)さん、藤方裕子(羽坂)さん、叶竜也(寺迫小学校)さん、山本秀子(鶴野内)さん、河野勝光(越表)さんによる歌謡ショー、宜野湾市青年団による沖縄民謡・踊りの披露、また町民によるダンスや民謡、太鼓の演奏、地芝居など多才な内容で行われました。

本年は、台風14号の襲来により本町においても多大な被害を受けましたが、「元気・助け合い」をテーマに、町民による牧水のふるさと東郷の秋祭り開催となり、訪れた大勢の人々の歓声が響く中、盛会の内に幕を閉じました。



農林産品展のお礼
 本年も農業改良普及センターで農林産品展が開催されました。
 出展者 82名、
 出点数 245点、
 販売金 61,750円
 販売代金は、台風災害の義援金としました。
 ありがとうございました。



台風14号被災世帯を対象に説明会を開催



台風14号被災世帯を対象に説明会を開催

町では、去る10月12日と13日、台風14号の被災世帯を対象に支援策のお知らせ、意見・要望の聞き取りを行うため、説明会を公民館等で開催しました。

その際に主に次のような意見・要望がありましたので、掲載します。

出された意見・要望は、すぐに対応できる事項、日向市との合併後に新市に引き継いで取り組む事項、県・国に要求して実現を図る事項などあります。被災された皆様には納得のいかないことがいろいろあるとは思いますが、御了解願います。引き続き対策に取組んでいきます。

【河川改修関係】

- 広瀬地区は、集団移転も考えてもらいたい(広瀬)
- 広瀬の堤防を嵩上げするといふ話を聞くが、福瀬下村地区にさらに浸水の影響が及ぶ恐れがある(福瀬)

- 想定している水位よりも今回の水位は高かった。福瀬の鳥川、下村地区の嵩上げは変更しないのか(福瀬)
- 家屋の嵩上げをしたのに、浸水した。設計変更はないのか(中野原)
- 築堤(堤防工事)が行われているが、内水対策はどうするのか(小野田)
- 河川の砂利の撤去はできないか。特に坪谷川と耳川の合流地点(羽坂)
- 農道に土砂がたまり、通行できなくなった。町道の迂回路としても利用する。ライフラインの確保として対策はとれないか(羽坂)
- 羽坂橋の橋げたに木材が引っかかっている。下にいる人に落下したら危険である。早く撤去してほしい(羽坂)
- 堤防工事に関し問題があるのではないか。鶴野内でも宅地の嵩上げを(鶴野内)
- 越表中水流の橋が架かったら水が上がりだした。宅地嵩上げをしないと家の建替え、修理もできない(越表)
- 土木事務所は国道下の暗渠を

大きくしたので大丈夫というところであったが床上浸水した。自宅の進入路が国道より低いので整備してほしい(越表)

【家屋調査関係】

- 家屋調査の結果を各戸に説明してほしい(鶴野内)
- 家屋の被害調査は行ったのか、評価はどうか(鶴野内)

【避難関係】

- 鹿瀬地区には避難勧告はなかったがどうしたのか(鶴野内)
- 避難勧告の理由が、上椎葉ダムの放流開始というがどういふことか(鶴野内)
- 鶴野内コミュニティセンターは、避難場所には適していない(鶴野内)
- 避難場所の見直し、避難場所の備品の充実、高齢者等用のベッドの準備をすべき(鶴野内)
- 長期的な避難に対応できるような準備を(鶴野内)
- 上椎葉ダムが決壊した場合の避難道整備を要望する(鶴野内)
- 消防団に避難者の把握を依頼

【ダム管理関係】

- ダムも土砂が堆積し浅くなっている。浚渫の話はないのか(福瀬)
- ダムがあるから災害が起きる。

空にしておけばいい(福瀬)

- 九電はダム管理について適正に基準にそって管理しているというが、利水ではこのような災害がおこりやすい。治水ダムの機能を持たせるよう県に要望してほしい(広瀬)
- 土木事務所、ダム管理者(県企業局)と協議の場を作してほしい(越表)
- 九電の放流対策で、被害を最小限に食い止めるよう強力に要望してほしい(鶴野内)
- 被災者の会を立ち上げ、九電に要望していく必要がある(鶴野内)
- 前日まではダムの放流はないが、当日は増える。事前の放流はできないのか(鶴野内)
- 九電は人命軽視でないか(鶴野内)

【オフトーク関係】

- オフトーク通信を防災無線に変えられないか(小野田)
- オフトークでダムの放水量や東郷橋の橋脚での位置を放送しても具体的にどういふ状況かわからない。放流が何トンだからどこで水位が何メートル上がるのかの放送をしてもらいたい(小野田)
- 口調はゆっくり、2、3回繰り返し送ってほしい(小野田)
- 避難場所、水位等の情報の広報を(鶴野内)
- 放流量、河川の水位についてしか放送がなかった。危険水位、橋げたまでとどのくらいとか具体的情報がなかった(鶴野内)
- 越表区、小丸川の情報については流していない(越表)

【その他】

- 山陰地区簡易水道の水源は河川の中にある。別の水源を確保する必要がある(小野田)
- 台風通過後に諸塚のダムが決壊したというデマが流れた。役場はすばやく真偽の情報をキヤッチし、広報してほしい(小野田)
- 役場としては、今回の台風災害を受けて、何らかの対策を立て、その内容を町民に知らせるようなことは考えていないか(小野田)
- 異常気象は当たりまえなので、何が起きてもいいように対応を徹底すべきではないか(鶴野内)



されたが、暴風雨の中では団員の安全確保を考えると無理である(鶴野内)

○避難者はあたたかく迎え入れ、言葉使いにも注意してもらいたい(小野田)

短歌 尾鈴短歌会

真夜中に夫の寝息たしかむる人間の命の限りを思ふ
黒木ヒサ

まだ明けぬグループホームの朝明けに灯りのともりて保母の見回る
木村映一

深呼吸すれば秋風爽やかに野辺の芒の穂をゆらしゆく
橋口忠孝

台風の明日にもくるか豊稔の稲穂大きく波打ちており
東村吉市

雲あつき空はいつしか十六夜の月天のパノラマひとりじめする
小山貞代

光終えし母は冥土へ六十年如何におわすか阿弥陀浄土は
三浦園男

高原のすすきの野をゆく君とわれ遠い過去かも知れぬこの今
寺原八重子

濁流が田畑呑み込み迫り来る為すすべもなくリュックを背負う
若藤美智子

明日はこわさるる我が家の暗き広間に今宵は一人やすみぬ
佐藤キヌ子

洪水に浸かりし歌集捨てがたく慈しむごと日向にほしぬ
本多茂雄

水害を自然災害というはなし地球温暖化を人等言ふ
岩木幸美

綿の種蒔く時期遅れ花盛り上弦の月に鮮やかにみゆ
岩木富子

台風の荒れる一夜を一人居てニュースみており夜の更けるまで
木村秋男

「小児救急医療電話相談事業」について

県では、休日等の夜間において、小児救急患者の保護者等からの電話による相談を受ける事業を、11月3日から開始しました。

夜間の子どもの急病時、病院に行った方が良くどうか判断に困ったときにご利用下さい。
小児科医の支援体制のもとに看護師が相談に応じます。相談料は無料です。

【相談日時】

○土曜、日曜、祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）

○午後7時～午後11時

【相談電話番号】

○プッシュ回線の場合 #8000

○携帯電話、ダイヤル回線、IP電話等 0985-35-8855

※通話料は利用者負担となります。

【相談対象者】

○県内に住む15歳未満の子ども及びその保護者

【利用上のご注意】

○直接患者の状態を診て行う診断・治療ではないので、限界があることをあらかじめご承知ください。

○電話が混み合っつながりにくい場合が予想されますが、あらかじめご了承ください。

○保護者の目から見て、明らかに緊急を要する急病の場合は、119番をご利用ください。



保健だより

やすらぎ館
0985-357

「保健所の一般健康診断業務の廃止」について

保健所で月2回実施している健康診断業務は、平成18年3月末をもって廃止されます。

平成18年4月以降は、最寄りの医療機関をご利用ください。

なお、一般的な健康相談については、引き続き、保健所で実施していますので、気軽にご相談ください。

12月地区巡回健康相談

期日	会場	受付時間
2日(金)	大工野集落センター	9:00～9:15
	鶴野内コミュニティセンター	11:00～11:15
5日(月)	迫野内地区多目的集会施設	9:00～9:15
9日(金)	東上コミュニティセンター	9:00～9:30
13日(火)	地内集会所	9:00～9:15
	八重原高齢者プラザ	11:00～11:15
15日(木)	田野公民館	9:00～9:15
	稲葉野地区多目的集会施設	11:00～11:15
16日(金)	羽坂生活改善センター	9:00～9:15
	硯野集会所	13:30～14:00

12月の行事予定表

期日	場所	受付時間
話そや会(糖尿病コントロール教室)		
7日(水)	やすらぎ館	9:30
リハビリ教室		
8日(木)	シルバーセンター	10:30
赤ちゃん健康相談		
14日(水)	やすらぎ館	9:30～10:00
1歳6か月児健康診査		
14日(水)	やすらぎ館	13:30～14:00
2歳6か月児健康診査		
14日(水)	やすらぎ館	14:00～14:30
さくらんぼの会		
20日(火)	さくら館	9:30
いきいき元気塾		
21日(水)	やすらぎ館	9:30

1人当たり医療費(平成17年3月～平成17年6月)単位:円

	東郷町		市町村平均
	1人当たり医療費	順位	
一般	80,410	20	75,953
退職	134,450	11	123,806
老健	263,687	16	268,964
合計	143,583	10	132,971

台風14号被害義援金の一次配分決まる

先般の台風14号で被災を受けられました皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、町内外の団体・企業・個人の皆様から義援金等多数の善意が寄せられましたことに心からお礼申し上げます。

町では、皆様から寄せられました義援金につきまして、11月14日に配分検討会を開催し、次のとおり配分方法等を決定しましたので、被災されました皆様方の一日も早い復興をご祈念申し上げ、ここにご報告いたします。

1. 平成17年10月末現在の義援金

区分	金額	説明
宮崎県第1次配分金	2,115,000円	9月8日～10月14日までの義援金
東郷町受付分	2,779,000円	役場、郵便局、社会福祉協議会受付
合計	4,894,000円	

2. 配分方法等

○配分方法についての基本的な考え方

宮崎県義援金配分基準額(全壊30,000円、半壊15,000円、床上浸水10,000円)及び平成9年、平成16年台風義援金の町配分基準額を基に配分方法等を協議しました。

1) 配分方法

宮崎県の義援金募集期間が9月8日から11月30日までとなっており、県では迅速性確保の観点から、2回に分けて配分することとなっていますので、町においても下表により配分することとしました。

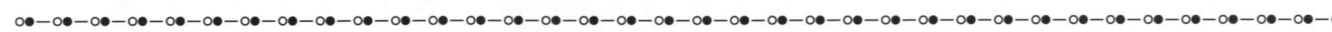
区分	配分対象義援金	配分時期
第1次配分	平成17年9月8日～10月31日までの義援金	11月末までに配布
第2次配分	平成17年11月1日～11月30日までの義援金	12月末に配布予定

2) 第1次配分の配分基準額

被災区分	配分基準額	被災区分	配分基準額
全壊(住家)	50,000円	床上浸水(住家)	20,000円
半壊(住家)	25,000円	床上浸水(住家以外)	10,000円
		床下浸水(住家)	10,000円

3) 第2次配分について

第2次配分の配分基準額については、第1次配分後の義援金寄託額の範囲内で、第1次配分基準額の割合により配分することとしました。



- 11月期東白杵郡市牛品評会、並びに12月期児湯郡市牛品評会が開催されています。成績については次のとおりです。
- 東白杵郡市共進会**
- 【雌子牛の部】
 - 福瀬 高尾ふさ美
 - たかあき41号 老等賞
 - 羽坂 福永マスマ
 - かつふく161号 式等賞
 - 仲深 黒田成光
 - やすよ号 式等賞
 - 【去勢の部】
 - 坪谷 岡村賢一
 - 平茂2号 優等賞首席
 - 羽坂 福永マスマ
 - 勝福159号 優等賞4席
 - 福瀬 高尾ふさ美
 - 高昭42号 老等賞
- 児湯郡市牛共進会**
- 【雌子牛の部】
 - 庭田 黒木国寛
 - さかえ1号 式等賞

畜産だより

秋季グラウンドゴルフ大会



10月19日(水)、総合グラウンドにおいて秋季グラウンドゴルフ大会が開催され、町内から147名が参加し熱戦を繰り広げました。

熱戦の末、寺迫の橋口琢美さんが優勝を果たしました。準優勝には仲深の矢野満さん3位には寺迫の海野寿美子さんが入賞し、ホールインワン賞を64名の方が獲得しました。

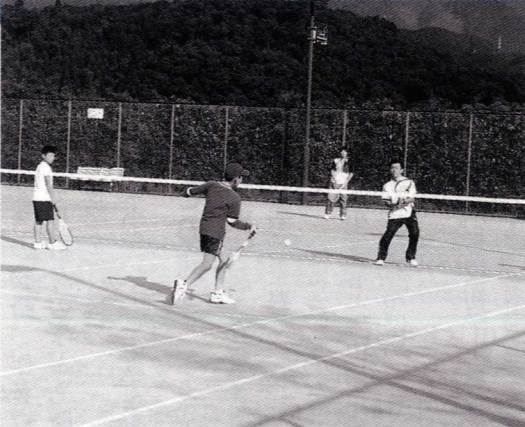
秋季ゲートボール大会



10月25日(火)、総合グラウンドにおいて秋季ゲートボール大会が開催されました。町内から15チームが参加し熱戦を繰り広げました。

優勝は寺迫Bチーム、準優勝に小野田チーム、第3位に仲深チーム・越表Aチームがそれぞれ入賞を果たしました。

ふれあいソフトテニス大会



11月13日(日)、牧水公園テニスコートでふれあいソフトテニス大会が開催されました。町内外から14組27名の参加者が集まり、熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

【男子の部】
 優勝 那須健司(坪谷)
 準優勝 高木敏行(福瀬)
 第3位 稲田真一(田野)
 谷口典大(福瀬)
 三浦一将(仲深)
 酒井哲也(坪谷)

【女子の部】
 優勝 高木美早紀(福瀬)
 準優勝 山村飛鳥(日向)
 橋口悦子(西郷村)
 田中ゆかり(西郷村)
 矢野ゆかり(坪谷)
 矢野恵子(坪谷)

全日本空手道連盟剛柔会宮崎県支部大会



11月3日(木)、延岡市で行われた全日本空手道連盟剛柔会宮崎県支部大会に本町から7名(順泉館 橋口泉館長)が出場し、組み手の部で小野田の西田沙希さんが、また羽坂の中井真衣さんは初出場ながら準優勝という快挙を成し遂げました。

結果は次のとおりです。

【団体組手】
 3位 順泉館

【組手】
 準優勝 西田沙希(東郷小5年)
 準優勝 中井真衣(東郷小3年)

友好の絆、永久に続けと……

【沖縄県宜野湾市】

11月5日、6日、姉妹都市である宜野湾市の伊波市長外3名の市職員が来町し、東郷町として最後となった牧水の里の秋祭りに参加しました。

また、本町の青年との交流のため訪れた青年3名も、ステージで沖縄の舞踊を披露し祭りに花を添えました。今回、青年団に同行した宜野湾市教育委員会の田場係長は、児童交流で本町児童が宜野湾市を訪問した際、心のこもった暖かい配慮をいただいている方の一人です。その田場係長が、本町が合併することに伴い今後の交流が気遣われる中で、姉妹都市としての永遠の絆に想いを寄せて詠まれた歌を紹介します。

歌には、そんな気持ちを表現した解説が添えられていました。

若囃子 山陰までも 秋祭り
 牧水の里 永久に続けと
 田場盛茂



【北海道幕別町】

幕別町とは若山牧水のとりもつ縁で、昭和49年2月に友好町提携の盟約で結ばれ、以来30余年を青年・児童の交流を中心に親密な交流が続けられてきました。

本町の日向市との合併及び幕別町の町村合併控え、11月10日幕別町から岡田町長外2名が来町し友好町提携の盟約を解消する覚書を交わしました。

小林町長は、「歴史の流れの中では如何ともしがたい一つの宿命と思い、次善の策として再出発を前提としての友好町提携の盟約を解消することとなった。合併後も未来永劫にわたる友情を誓い、児童を中心としたこれまでどおりの交流の継続を約束したい。」とあいさつを述べました。



高齢者クラブ会員表彰を受ける

小野田高齢者クラブ(喜楽会) 会長の東村吉市氏が、11月2日(水) 宮崎市民文化ホールで開催された第30回さんさんクラブ(老人クラブ)大会において、宮崎県知事表彰を受賞しました。あわせて、町高齢者クラブ連合会会長の楠光氏(越表会長)が、11月9日(水)に東臼杵郡老人クラブ会長表彰を受賞しました。これらの表彰は、長年、高齢者クラブの育成・指導に尽力し、功績のあった会員に受与されるものです。



特設人権相談のご案内

いじめ・いやがらせ・差別・名誉・プライバシー、家族関係や近隣関係での困りごとなどの問題でお悩みの方、ご遠慮なくご相談ください。相談は無料、予約不要です。日程・場所など都合のよい相談所にお越しください。

Table with columns: 月日, 時間, 場所. Lists consultation hours for various locations from Dec 6 to Dec 9.

国連は「世界人権宣言」の採択日である12月10日を「人権デー」と定めています。我が国でも「人権デー」を最終日とする12月4日～10日までの1週間を「人権週間」と定め、人権啓発に努めています。



産業文化祭で啓発物品を配布する人権擁護委員

第57回人権週間 『育てよう一人一人の人権意識』

つた人権啓発ポスターを掲示します。ぜひ見に来てください。○街頭啓発活動 人権週間に関するチラシ、啓発物品を店舗前で配布します。

12月2日(金) 16時30分 日向市 ジャスコ日向店
12月6日(火) 16時から 門川町 サンシールさの マルシヨク門川店

まごころ館 だより

12月の主な行事

ビデオ上映会
☆9日(金) 16時00分
『まんが日本昔ばなし』より
『塩ふきうす』
『あとかくしの雪』
『羅生門の鬼』
『大歳の火』
☆24日(土) 16時00分
『まんが日本昔ばなし』より
『雪女』
『岩屋の娘』
『かしき長者』
『ソラ豆の黒いすじ』
☆お話し会
21日(水) 10時30分
さくら館の休館日
5日・12日・19日・23日・26日
29日・30日・31日

新刊図書紹介

一般図書
生きて死ぬ智慧 柳沢桂子著
生命学者が、「般若心経」

風の中の盆幻想 貫井徳郎著
憑神 内田康夫著
シャングリ・ラ 浅田次郎著
ハナとウミ 池上永一著
楽園の眠り 大道珠貴著
愛するということ 馳星周著
小池真理子著
恐怖の存在 熊谷達也著
上・下 マイクルクライトン著

祝福 玄侑宗久著
カオス 梁石日著
漆黒泉 森福都著
ごはん大好き！子どもに人気のホカホカごはん 食べもの文化編集部編
オリープの海 ケヴィン・ヘンクス著
絶対、生きてやる。 古島町子著
ノーマアヒロシマ・ナガサキ 黒古一夫
全身きれいに美肌スキンケア 佐藤英明著
酔てきな(ち)そう 金子ひろみ著
シフト うえお久光著
こどもたちへ 水谷修著
いちばん大切なこと。 ドロシー・ロー・ノルト著
大人の脳の鍛え方 久恒辰博著
手軽に楽しむ小さなグリーン 数正秀監修
誰のために愛するか 曾野綾子著
1リットルの涙 木藤亜也著

児童図書

クリスマススの幽霊 ロバート・ウエストル作
1930年代のイギリスの小さな町を舞台に、男の子の冒険と、父と息子の絆を描いた、心に残るクリスマス

マスの物語。作者ウエストル自身の子ども時代の回想記を併録。(小学校上・中学年対象)
その他
職業別ユニフォーム・制服絵事典 日本ユニフォームセンター監修
(小学校上・中学年対象)
くねんばつちり 工藤直子作
(小学校上・中学年対象)
写真絵本 国境なき医師団日本監修
(小学校初学年対象)
写真絵本 国境なき医師団

ローラ*ローズ ジャクリーン・ウィルソン著 (中学年対象)
14歳の法律相談所(ロースクール) 野田和寿著 (中学生・高校生対象)
対馬丸 大城立裕作 (小学校上・中学生対象)

えほん

ゆうかなちびのお針子 メアリー・ポー・オズボーン文
おばけとしゃかん デイヴィッド・スリンギンク
ねずみくんとかくれんぼ なかえよしを
山いっばいのきんか 君島久子ぶん
忍者にんにく丸 川端誠作
タンタンソビエトへ エルジエ作
ことわざのえほん 西本鶏介編・文
アンジュール ガブリエル・パンサン作
てぶくろ エチケニー・ミラチヨフエ
こぐまくんのハモニカ ジョン・セバスチャン作
とのさまサンタ 本田カヨ子ぶん
※他にもたくさんあります。

第5回若山牧水 全国こども短歌まつり

日時 平成17年12月26日(月) 9時30分～15時50分
場所 東郷町総合文化センター 及び中央公民館
内容
【第一部】全国こども短歌コンクール表彰式
【第二部】舞台芸術鑑賞会
【第三部】第31回牧水かるた大会

製造事業所の皆様へ

統計調査にご協力ください。平成17年工業統計調査を12月31日現在で行います。調査の実施に当たっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

うなぎ稚魚の特別採捕について

平成17年11月25日から平成18年3月10日まで、県内各河川において、増・養殖用種苗を確保するため、うなぎ稚魚(しらすうなぎ)の特別採捕が行われています。うなぎ稚魚の採捕には、知事の特別採捕許可が必要であり、許可を受けずに採捕した場合は処罰されます。また、「うなぎ稚魚の取扱いに関する条例」に基づく登録を受けずに、全長25cm以下の大きさのうなぎ稚魚を売買・所持等をした場合にも処罰されますのでご注意ください。

【問合せ先】 宮崎県農政水産部水産政策課 電話 0985-26-7146

自衛官募集のお知らせ

Table with columns: 募集種目, 募集人員(全国), 資格, 受付期間, 試験期日及び合格発表, 入(校)隊. Details recruitment for self-defense forces.

公の施設の指定管理者を募集します

●指定管理者制度とは
平成15年9月に地方自治法が一部改正され、「公の施設」の管理運営について、民間の能力を活用することにより住民サービスの向上と経費削減を目指す、指定管理者制度が創設されました。

●募集要項について
施設及び業務内容のほか、応募資格や応募方法、選定基準などの具体的な内容は、募集要項に記載します。

●対象施設
次の施設について募集を行います。
施設名称 所在地
牧水公園交流施設 東郷町大字坪谷
東郷町物産センター 東郷町大字山陰辛
東郷町農産加工施設 東郷町大字山陰辛

●募集要項の配布及び申請の受付
配布期間 平成17年11月25日(金)～
受付期間 平成17年12月1日(木)～12月12日(月)

●選定方法等
「東郷町指定管理候補者選定委員会」において選定基準に基づき、申請団体から提出された事業計画書等により審査した上、東郷町が指定管理者の候補者として選定します。

●申請書等の提出先・お問合せ先
ご不明の点等ありましたらお問い合わせください。

Table with 3 columns: 施設名称, 担当課, 電話番号

●応募方法
1200字以内で、「合併後の東郷町を考えると題した作文を提出してください。」

●結果の通知
平成17年12月26日(月)までに合格者のみに通知する。

●提出先・問合せ先
〒883-0192 東郷町大字山陰内1374番地

●募集人数
3名

●応募資格
(1)町内に住民登録をしている方で、町内に居住している方

●募集期間
平成17年12月1日(木)から12月15日(木)まで(郵送の場合は、当日消印有効)

●応募方法
1200字以内で、「合併後の東郷町を考えると題した作文を提出してください。」

●結果の通知
平成17年12月26日(月)までに合格者のみに通知する。

●提出先・問合せ先
〒883-0192 東郷町大字山陰内1374番地

●募集人数
3名

●応募資格
(1)町内に住民登録をしている方で、町内に居住している方

●募集期間
平成17年12月1日(木)から12月15日(木)まで(郵送の場合は、当日消印有効)

●応募方法
1200字以内で、「合併後の東郷町を考えると題した作文を提出してください。」

●結果の通知
平成17年12月26日(月)までに合格者のみに通知する。

●提出先・問合せ先
〒883-0192 東郷町大字山陰内1374番地

●募集人数
3名

●応募資格
(1)町内に住民登録をしている方で、町内に居住している方

●募集期間
平成17年12月1日(木)から12月15日(木)まで(郵送の場合は、当日消印有効)

●応募方法
1200字以内で、「合併後の東郷町を考えると題した作文を提出してください。」

平成18年度の指名競争入札参加資格審査申請書の提出は日向市へ!
日向市指名競争入札参加資格審査申請要領

日向市が発注する建設工事・業務委託・物品購入などの指名競争入札または、見積もりに参加を希望される方は、下記のとおり申請書を提出してください。

《対象及び有効期間》

Table with 3 columns: 区分, 内容, 有効期間

※物品購入等については、今回は追加受付です。
※物品購入等については、今回は追加受付です。
※物品購入等については、今回は追加受付です。

●受付期間
建設工事・業務委託
平成17年12月1日(木)～平成17年12月28日(水)

●受付時間
午前9時～12時、午後1時～4時(土・日曜日及び祝祭日を除く)

●注意事項
・建設工事と業務委託についてはA4ファイル綴じをお願いします。(ファイル色指定なし)

●提出先・問合せ先
〒883-8555 日向市本町10番5号

●結果の通知
平成17年12月26日(月)までに合格者のみに通知する。

●提出先・問合せ先
〒883-0192 東郷町大字山陰内1374番地

●募集人数
3名

●応募資格
(1)町内に住民登録をしている方で、町内に居住している方

●募集期間
平成17年12月1日(木)から12月15日(木)まで(郵送の場合は、当日消印有効)

●応募方法
1200字以内で、「合併後の東郷町を考えると題した作文を提出してください。」

●結果の通知
平成17年12月26日(月)までに合格者のみに通知する。

●提出先・問合せ先
〒883-0192 東郷町大字山陰内1374番地

●募集人数
3名

●応募資格
(1)町内に住民登録をしている方で、町内に居住している方

●募集期間
平成17年12月1日(木)から12月15日(木)まで(郵送の場合は、当日消印有効)

●応募方法
1200字以内で、「合併後の東郷町を考えると題した作文を提出してください。」

●結果の通知
平成17年12月26日(月)までに合格者のみに通知する。

●提出先・問合せ先
〒883-0192 東郷町大字山陰内1374番地

●募集人数
3名

●応募資格
(1)町内に住民登録をしている方で、町内に居住している方

●募集期間
平成17年12月1日(木)から12月15日(木)まで(郵送の場合は、当日消印有効)

●応募方法
1200字以内で、「合併後の東郷町を考えると題した作文を提出してください。」

注意! 駐在所だより

悪質商法の被害に遭わないために
①うまい話にご用心
②はつきり言おう「いりません」

車の変更・移転手続きはお済みですか

引越して住所が変わった場合は変更登録の手続きを、自動車の所有者の名義が変わった場合は移転登録の手続きを、15日以内にするよう法律(道路運送車両法)で義務づけられています。

住所や名義が変わったら、必ず手続を行います。

自動車登録等適正化推進協議会
電話 03-5542-5101

日向市介護認定調査員の募集

日向市では、介護認定調査員の補充募集を次のとおり行います。

●業務内容
介護保険に係る要介護等認定申請者の自宅や介護保険施設等を訪問し、認定調査に必要な心身の状況等の調査を行う。

東郷霊苑休業日

平成17年12月31日(土)
平成18年1月3日(火)

ゴミ収集年末年始休業期間

平成17年12月31日(土)
平成18年1月3日(火)

リサイクル広場(羽坂)の開放日

12月18日(第3日曜日)
12月25日(第4日曜日)

善意の灯

忌明けとして、次の方から町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意が寄せられます。

合併時に設置する東郷町地域自治区地域協議会委員の候補者を募集します

地域協議会の委員は、公共的団体等が推薦する者14名、学識経験を有する者3名、公募に応じた者3名の20名で構成し、日向市長が選任します。

●募集人数
3名
●募集期間
平成17年12月1日(木)から12月15日(木)まで(郵送の場合は、当日消印有効)

●応募資格
(1)町内に住民登録をしている方で、町内に居住している方

●募集方法
1200字以内で、「合併後の東郷町を考えると題した作文を提出してください。」

●結果の通知
平成17年12月26日(月)までに合格者のみに通知する。

●提出先・問合せ先
〒883-0192 東郷町大字山陰内1374番地

●募集人数
3名
●応募資格
(1)町内に住民登録をしている方で、町内に居住している方

●募集期間
平成17年12月1日(木)から12月15日(木)まで(郵送の場合は、当日消印有効)

●応募方法
1200字以内で、「合併後の東郷町を考えると題した作文を提出してください。」

戸籍だより (10月届出分)

出生 おめでと
赤ちゃんの氏名 保護者 住所

死亡 冥福を祈ります
氏名 年齢 住所

Table with 3 columns: 氏名, 年齢, 住所

街の話題

第5回チャレンジ・ザ・ ガーデニングコンテスト 日向・東臼杵南部ブロック 奨励賞受賞

寺迫の橋口政美さん、洋子さん夫妻は、今年の4月からガーデニングを始めたばかり。自宅は日向灘を一望できる高台にあり「海の青、空の青とうまく調和とれた庭にしてみたい。」と応募しました。愛情込めて植えられた花々がやさしく迎えてくれるオープンガーデンとなり、応募数27作品の中から、1次、2次審査を経て見事奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。



東郷幼稚園



鶴野内区 おもだか
関野新太郎くん(4歳)
父 徹さん
母 ゆかりさん
○好きな食べ物は何ですか？
いちご、みそ汁、キャベツ
○好きな遊びは何ですか？
すべり台、ブランコ、闘いっこ
○大きくなったら何になりたいですか？
ポケモンのさとし



「動物園へ行ったよ」



「動物園へ行ったよ」



福瀬区 仲野原住宅
濱地蒼依ちゃん(5歳)
父 貴志さん
母 小百合さん
○好きな食べ物は何ですか？
お肉、ぶどう、柿
○好きな遊びは何ですか？
鉄棒、ままごと、粘土
○大きくなったら何になりたいですか？
プリンセス

表紙牧水のうたの解説

都甲 欣一

夕さればいつしか雲は降り来て
峰に寝るなり日向高千穂(別離)

この歌は明治四十年の夏、牧水が早稲田大学四年生の夏休みに九州を旅したときの作で、宮崎県西臼杵郡高千穂町を詠んだ歌である。

この歌は当初、結句が「山ふかき国」となって第一歌集『海の声』に収められていたが、第三歌集『別離』に収める時には結句を「日向高千穂」と地名にしている。

歌の意味は「夕方になると、空の上に白く浮かんでいた雲がいつのまにか下に降りてきて、あの山の峰に、まるで寝ているかのように横たわっている。ここ日向の高千穂は山深いところだ。」と説明している。

また、歌の解説では、「峯」は高千穂の峯のことで、「峯に眠る」という言い方は擬人法であり、雲に対する親しさの気持ちの表れである。結句を「日向高千穂」と地名にしたことによって、風景がより鮮やかに迫ってくる。と説明している。

この歌は大学四年生の作であるが、牧水が初めて高千穂を訪ねたのは宮崎県立延岡中学校四年生の修学旅行の時である。

「月明し山脈こえて秋かぜの流るる夜なり雲高う照る」

この歌も高千穂での作である。
(伊藤一彦著「命の破片」、
大谷和子著「名歌即訳若山
牧水」より)

